

県民が親しみやすく分かりやすい「キャッチフレーズ」について

＜平成26年度 第2回 8020運動推進部会での意見＞

- (1) 広い世代にユニバーサルに広報できるような言葉がよい
- ・従来の「8020運動」は若い世代には遠い将来の話だと思われる
 - ・「ピンクリボン運動」や「ブルーライトアップイベント」など、聞いた時には意味が分かりづらいが、だんだんとその意味が普及されていくという言葉がよい
- (2) 言葉と行動を組み合わせることで広まりやすい
- ・言葉だけではなく、言葉に伴う行動が行えるというのが大切
- (3) 兵庫県の特徴を組み込む
- ・兵庫県のキャラクターである「はばたん」や「青い旗」など、兵庫県の特徴を出せるとよいか

「～健康な歯で は は は～



プラス アルファー
歯みがき + α 運動



兵庫県マスコットはばたん

背景	厚生労働省実施「平成23年度歯科疾患実態調査」より、毎日歯をみがく者の割合は95.5%と高く、「歯みがきをする」という習慣が段々と広まってきている。
目的	「歯みがき」に加えて何かもう1つ歯科保健行動を行うことで、より効果的にむし歯や歯周病を予防しようという運動
特徴	各ライフステージによって「+α」となる行動が異なり、色々な行動と結びつけることができる 【「+α」の例】 全ライフステージ共通：かかりつけの歯科医院を持ち定期的に歯科健診を受ける よく咬んで食べる 乳幼児期・学齢期：フッ化物配合歯みがき剤の使用、デンタルフロスの使用 青年期・成人期：歯間ケア（デンタルフロスや歯間ブラシの使用） 高齢期：健口体操（口を動かす）、舌みがき、義歯の手入れ

ご意見をいただきたい内容

○ キャッチフレーズについて

- ・キャッチフレーズ自体が適切かどうか（その他の案）
 - ・キャッチフレーズの標記について
 - ・キャッチフレーズの活用方法について
- 等